

* Izunuma & Uchinuma Bird Experience *

秋冬



伊豆沼・内沼
サンクチュアリーセンター
9時～16時30分
月曜休館

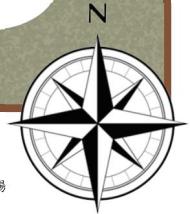


- 1 宮城県 伊豆沼・内沼
サンクチュアリーセンター ● 鳥館
- 2 登米市 伊豆沼・内沼
サンクチュアリーセンター ● 淡水魚館
- 3 栗原市 サンクチュアリーセンター
つぎだて館 ● 昆虫館



- A 獅子ヶ鼻堤防
朝日と鳥の飛び立ち観察がおすすめ
- B 水生植物園
国内敷策や環境保全の取り組みを学ぶことが出来ます。
- C 東岸堤
鳥のねぐら入り観察がおすすめ
- D 高台からの夕景
夕日と鳥のねぐら入り観察がおすすめ
- E 野鳥観察館
屋上や室内から鳥の観察ができます
- F 彦道船着場
田んぼにいる鳥が観察できます
- G 内沼の砂浜
夕日と鳥のねぐら入り観察がおすすめ
- H 砂子崎
夕日と鳥の飛び立ち観察がおすすめ

- I 伊豆沼農産
伊豆沼農産のソーセージ、ハム、ジェラートや、地域の農産物、食品、手作りグッズなど
- J くんべる
伊豆沼農産の赤豚を使ったレストラン
- K コロボックル
素晴らしい展望、ジャズ喫茶
- L シルクロ
三塚牧場の和牛を使ったハンバーガーなど
- M ひしの実
伊豆沼れんこんなどを使ったホットサンドなど

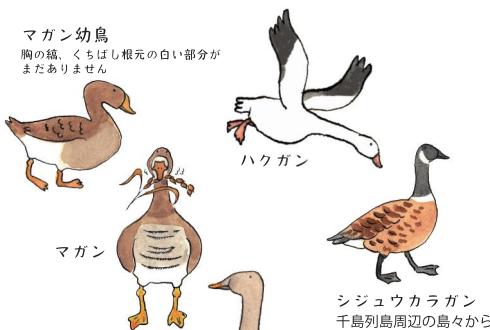


宮城県北部 登米市・栗原市にまたがる伊豆沼・内沼は ラムサール条約登録湿地、国設鳥獣保護区です

伊豆沼・内沼にやってくる冬の使者たち

ここに掲載した以外にも沢山の鳥たちがやってきます！
よ～く見て、耳をすまして、みつけてくださいね～！！

マガニ幼鳥
胸の縮、くちはし根元の白い部分が
まだありません



ガン類

9月下旬、極東ロシアからやってきます。

夜は沼をねぐらに、昼間は田畠で落ち穂や草、
大豆などを食べています。

夜明けの「飛び立ち」、夕暮れの「ねぐら入り」
はみごとで、迫力に圧倒されます！！

(2月上旬くらいまで)



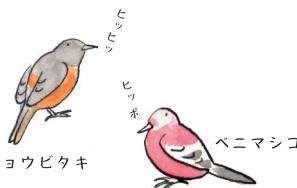
11月、ロシアから2~3羽やってきます。
凍結した沼でカモ類を捕獲する姿が見られるかも！
バードウォッチャーのあこがれ。



小鳥たち

シベリアからやってきます。

沼周辺では多くの小鳥が冬を過ごしています
耳をすますと、かわいらしい声が聞こえくるかも！



カモ類

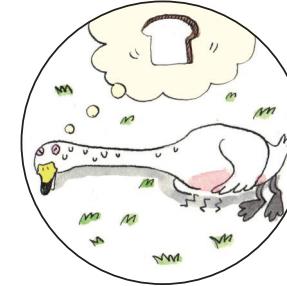
9月、極東ロシアなどからやってきます。
種類が多く 昼間の伊豆沼でみられます。

見分けられるようになると楽しいです。
双眼鏡があるといいですね！

オナガガモは 内沼で観察や餌やりができます。
(3月上旬くらいまで)



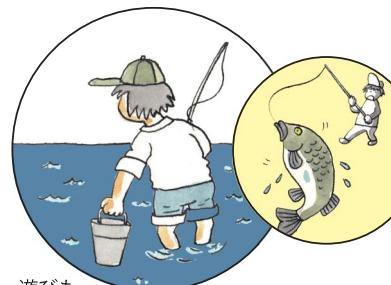
野生の動物たちや、
沼の環境を守るために、
約束があります！！



スナック菓子やパンなど、
油や添加物、塩分の強いモノ
をあげてはだめ！！
サンクチュアリーセンター、
伊豆沼農産で「鳥のえさ」が
売っています。

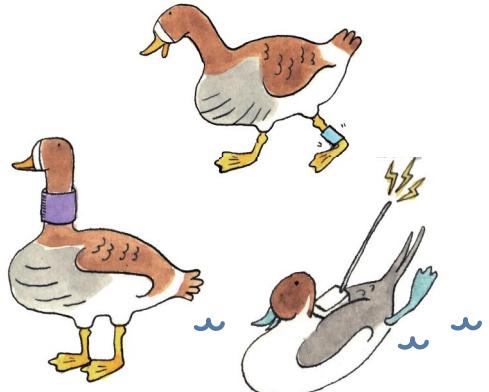


夜間、沼の周りでの
ハイビームはだめ！！
鳥たちが驚いて大騒ぎに。
鳥の親子が離ればなれになるかも。



ブラックバスの放流も
リリースもだめ！！

釣りも、遊びも
沼に立ち入ることはだめ！！
沼には貴重な在来魚などが戻
ってきているんですよ。



みつけたら！？

田畠や、沼で、沢山の渡り鳥をみかけます。
中には首や脚に輪っかを付けた鳥や、背中に
発信器を付けた鳥をみつけるかもしれません。
「鳥の渡り」の研究をしているんですよ！

みつけた時は 下記機関に連絡してくださいね！

(公財) 山階鳥類研究所
千葉県我孫子市高野山 115
tel : 04-7182-1101
E-mail : bird@yamashina.or.jp

(公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
宮城県栗原市若柳字上畠岡敷味 17-2
tel : 0228-33-2216
E-mail : izunuma@circus.ocn.ne.jp

伊豆沼・内沼 イラストマップ 秋冬版
2024年1月制作

発行元：伊豆沼農産 農村産業研究所
連絡先：0220-28-2986

協 力：伊豆沼・内沼クラブのみなさん
イラスト・デザイン：アトリエ「み」